

例代表の制度を批評す (一) 交戦国と中立国との関係を論ず
 (二) 風俗警察を論ず (二) 物権契約を論ず (一) 人口と経済
 との関係を論ず (五) 累犯を論ずなり而して本試験の筆記試験
 日割は左の如し

九月一日(金)	午前	民法	午後	憲法
同 二日(土)	午前	刑法	午後	経済学
同 四日(月)	午前	行政法	午後	国際法
同 五日(火)	午前	選択科目		

432 文官高等予備試験及び筆記試験

〔法学新報〕第26巻8(300)号 大正5年8月30日

○文官高等予備及筆記試験 文官高等予備試験は七月一日午前
 九時より衆議院に於て受験者六百五名に対し施行したるか試験
 委員和田義雄(仏語) 山口将太郎(独語) 茨城清次郎(英語)
 の選択試験を行ひ統て午後一時より馬場鏝一、河野寿旬両氏立
 会の上左記論文の選択試験を行ひ同三時終了す而して昨年
 の志願者三百八十余名に比し本年は二百十余名の増加を見たるか受
 験者の三分の二は帝大在學生にして三分の一は私大出身者及び
 在學生並に中学出身者なりと問題は(一)選挙の本質を論し比